

台頭するアジア諸国と岐阜県製造業のグローバル展開

はじめに

最近の中国・東南アジアの台頭にはめざましいものがあります。日本からは電機・自動車など組立型産業ばかりでなく関連の部品や素材産業もアジアへの生産移管を進めております。アジアから見ますと、日系メーカーによる産業集積が進んでいるということになり、このことが日本からアジアへの生産移管を一層加速する要因にもなっております。

このような状況の中で、これからの岐阜県製造業を考えますと、これまで以上の急速な変化が予想され、グローバルな競争の中での国際的連携、中でもアジア諸国との“協働関係”の構築を意識した展開がより重要になるものと思われます。

こうした問題意識の下、(財)岐阜県産業経済振興センターと日本貿易振興会アジア経済研究所は共同で「岐阜県製造業のアジア諸国におけるグローバル展開の将来像」に関する研究会を発足させ、岐阜県製造業、とりわけ中核的な存在である機械金属工業に焦点を当て、アジア諸国との連携方策や今後の可能性について検討してまいりました。

今回の調査研究結果が、岐阜県企業とアジア諸国との協働関係を構築していく一助となることを期待しております。また同様の問題に直面している中小企業の関係者に幅広く活用していただければ幸いに存じます。

最後に、ヒアリング調査にご協力頂いた企業の皆様方、共同研究のパートナーとしてご尽力頂いた日本貿易振興会アジア経済研究所を始めとする本研究会委員並びに海外の研究者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

平成14年3月

財団法人 岐阜県産業経済振興センター
理事長 杉 田 伸 樹